



2024. 10

漢方医学センター
センター長・教授
及川 哲郎

湿疹、アレルギー性皮膚炎と漢方

湿疹やアレルギー性皮膚炎をはじめとしたお肌のトラブルに応用できる漢方薬は多く、患者さんのQOL向上に役立ちます。

はじめに皮膚疾患の漢方的見方を少し説明します。皮膚の炎症は漢方医学的に血熱と考えることが多いです。血がたぎるイメージといたら分かりやすいでしょうか。私はよく鼻血ブー状態などと説明しています。そこで血熱を抑えるため、体の熱を取り去る清熱剤をよく用いることとなります。清熱剤の代表的処方としては黄連解毒湯や白虎加人参湯、代表的生薬としては黄連、山梔子、石膏などが挙げられます。

次にアレルギー性皮膚炎をはじめ慢性難治性の皮膚疾患は、単にアレルギーだけでなく、生活の歪みが発症や悪化の誘因になっている場合が多いと思います。したがって漢方薬の服薬だけでなく、生活習慣のチェックと指導すなわち漢方医学的な養生がとても重要です。よくある要因としては食べ過ぎ(砂糖の摂りすぎなど)、体重の増加、睡眠不足、ストレス、便秘などが挙げられます。夏場なら当然、汗やUV対策も重要となります。漢方医学センターHPでは養生について解説しています、こちらもぜひご参考にして下さい。

URL <https://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/kampo/point.html>



漢方薬は抗アレルギー剤と異なり眠くなりません。もちろん併用して効果を高めることも可能です。対症療法だけでなく体質改善にも応用できます。

皮膚疾患、なかでも湿疹やアレルギー性皮膚炎の患者さんが漢方治療を求める理由の一つに、「ステロイドをやめたい」が挙げられると思います。しかし患者さんの間違った思い込みや主治医とのコミュニケーション不足が見られるケースが多く、私から見ても実際にはステロイドが必要と思われることが少なくありません。私自身はあくまでも適切な現代医学的治療がベースと考えており、両者を上手に併用することが治療効果を高めることにつながります。

<具体的処方>

- **黄連解毒湯** 赤みややてかり感、痒み強い湿疹に最も頻用される漢方薬です。
- **白虎加人参湯** 白虎加人参湯に含まれる石膏には止汗作用があります。口渇や発汗傾向などを目標に使います。
- **梔子柏皮湯** 目の周りの湿疹などに用いられます。
- **十全大補湯** びらん面や浸出液が多い場合、組織修復作用の強い十全大補湯が適応になります。
- **十味敗毒湯** やや経過の長い湿疹に用います。化膿傾向があることやポツポツと散在する皮疹などが参考になります。
- **黄耆建中湯** 漢方で虚勞と呼ばれる慢性疲労に用いる薬で、湿疹など皮膚疾患にも用いられます。腹痛や便秘異常といったお腹の症状や易疲労感などを伴うことがポイントです。

漢方外来は**紹介制・予約制**です。当院におかかりの方は、各診療科の主治医に漢方外来への受診希望をお伝えください。